



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 双葉電子工業株式会社

コード番号 6986 URL <http://www.futaba.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 桜田 弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 経営企画本部長 (氏名) 池田 達也

四半期報告書提出予定日 平成27年11月11日

配当支払開始予定日

TEL 0475-26-0160
平成27年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	35,131	2.2	654	△36.9	976	△54.2	190	△83.9
27年3月期第2四半期	34,385	10.9	1,036	18.8	2,133	29.9	1,178	28.6

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 △2,785百万円 (—%) 27年3月期第2四半期 5,889百万円 (36.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	4.36	—
27年3月期第2四半期	26.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	157,205	142,165	84.2
27年3月期	162,907	147,307	84.1

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 132,417百万円 27年3月期 136,930百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年3月期	—	13.00	—	13.00	26.00
28年3月期	—	14.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	71,400	1.8	1,700	△10.6	2,400	△44.6	700	23.4	16.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、[添付資料]4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	45,886,739 株	27年3月期	45,886,739 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	2,465,347 株	27年3月期	1,753,535 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	43,607,520 株	27年3月期2Q	44,423,321 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、当社が現時点で入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいて算出しており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、当社製品の需給の急速な変動、米ドルを中心とした対円為替相場の変動および日本の証券・株式相場の変動など様々な要因により異なる場合があり得ることをご承知おきください。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国は家計部門を中心に景気拡大が続いており、欧州でも緩やかな回復基調となっておりますが、アジア地域では、中国・韓国を中心として減速傾向が鮮明となりました。

国内経済は、政府や日銀による各種政策の効果もあり、全体として緩やかな改善傾向が継続しておりますが、中国を始めとした海外景気の下振れ懸念や企業収益の先行きに不透明感が見られることから、依然として予断を許さない状況となっております。

このような状況のなか、当社グループは、電子部品事業のタッチパネルや生産器材事業のプレート製品の販売拡大に注力するとともに、その他の製品についても、売上げの拡大と収益力の確保に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は351億3千1百万円(前年同期比2.2%増)となりました。このうち海外売上高は、米国向けタッチパネルが伸長したことなどから217億1千4百万円(前年同期比7.4%増)となり、国内売上高は134億1千6百万円(前年同期比5.3%減)となりました。

収益面では、営業利益は6億5千4百万円(前年同期比36.9%減)、経常利益は9億7千6百万円(前年同期比54.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億9千万円(前年同期比83.9%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメント名称	前第2四半期連結累計期間 外部顧客への売上高	当第2四半期連結累計期間 外部顧客への売上高	増減率(%)
電子部品事業	12,528	13,805	10.2
電子機器事業	5,108	4,133	△19.1
生産器材事業	16,748	17,192	2.7
合計	34,385	35,131	2.2

① 電子部品事業

蛍光表示管につきましては、車載用途のヘッドアップディスプレイの販売拡大に努めましたが、市場が低迷したことなどから売上げは前年同期を下回りました。

蛍光表示管モジュールは、POS用途がやや低迷したものの、米国でのEMS事業が好調であったことから、売上げは前年同期を上回りました。

有機ELディスプレイは、ウェアラブルなどの通信機器用途は、前年同期を上回りましたが、期後半にはやや需要が停滞しました。一方、車載用途は順調に拡大しており、製品全体の売上げは前年同期を上回りました。

また、タッチパネルは、主な用途である車載用途が大幅に伸びたことから、売上げは前年同期を上回りました。

以上の結果、当事業の外部顧客に対する売上高は138億5百万円(前年同期比10.2%増)となりました。

② 電子機器事業

ホビー用ラジコン機器は、欧州およびアジア市場が低迷し、ロボット用機能部品は、主要販売先である大手パートワーク(分冊百科)販売会社向けのコマンド方式サーボの需要が鈍化したことから、ともに売上げは前年同期を下回りました。

また、産業用ラジコン機器は、農業関連向けやF A(生産関連)向けが堅調でしたが、主力のトラッククレーン向けテレコントロール製品の需要が低迷したことから、売上げは前年同期を下回りました。

以上の結果、当事業の外部顧客に対する売上高は41億3千3百万円(前年同期比19.1%減)となりました。

③ 生産器材事業

プレスおよびモールド金型用部品、プレジジョンプレートなどにつきましては、国内では、プレート製品のラインアップ拡充やECサイトである「フタバオーダーサイト」の大幅リニューアルなどの施策を実施しましたが、売上げは前年同期を下回りました。

海外は、主力の韓国では、自動車向けが底堅く推移したものの、スマートフォン向けが低迷したことなどから前年同期を下回り、中国市場も景気の減速から低調に推移しましたが、為替の影響により売上げは前年同期を上回りました。

以上の結果、当事業の外部顧客に対する売上高は171億9千2百万円(前年同期比2.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金や有形固定資産の減少などにより、前連結会計年度末に比べ57億1百万円減少し1,572億5百万円となりました。

負債は、繰延税金負債や賞与引当金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ5億5千9百万円減少し150億4千万円となりました。

純資産は、為替換算調整勘定の減少や自己株式の増加などにより、前連結会計年度末に比べ51億4千1百万円減少し1,421億6千5百万円となりました。この結果、自己資本比率は84.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえ、平成27年5月14日に公表いたしました業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日(平成27年11月6日)公表の「第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	62,667	58,630
受取手形及び売掛金	19,193	18,326
有価証券	2,797	3,354
商品及び製品	4,182	4,421
仕掛品	3,215	3,003
原材料及び貯蔵品	7,101	6,787
その他	2,097	1,367
貸倒引当金	△291	△281
流動資産合計	100,964	95,609
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	14,103	14,897
機械装置及び運搬具(純額)	9,663	8,822
工具、器具及び備品(純額)	844	839
土地	17,908	17,563
リース資産(純額)	82	63
建設仮勘定	2,787	2,127
有形固定資産合計	45,390	44,314
無形固定資産		
投資その他の資産	1,246	1,204
投資有価証券	11,575	12,067
その他	4,009	4,257
貸倒引当金	△278	△248
投資その他の資産合計	15,305	16,076
固定資産合計	61,942	61,596
資産合計	162,907	157,205

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,925	5,044
未払費用	2,785	3,024
未払法人税等	448	399
賞与引当金	1,130	899
その他	1,972	1,654
流動負債合計	11,262	11,022
固定負債		
繰延税金負債	2,261	2,015
役員退職慰労引当金	76	80
退職給付に係る負債	1,662	1,702
その他	338	219
固定負債合計	4,337	4,018
負債合計	15,599	15,040
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,558	22,558
資本剰余金	21,594	21,594
利益剰余金	89,470	89,087
自己株式	△3,847	△5,369
株主資本合計	129,776	127,871
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,437	1,892
為替換算調整勘定	1,715	△115
退職給付に係る調整累計額	3,000	2,768
その他の包括利益累計額合計	7,153	4,545
非支配株主持分	10,376	9,747
純資産合計	147,307	142,165
負債純資産合計	162,907	157,205

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	34,385	35,131
売上原価	27,410	28,088
売上総利益	6,974	7,042
販売費及び一般管理費	5,937	6,387
営業利益	1,036	654
営業外収益		
受取利息	168	159
受取配当金	99	139
為替差益	689	—
その他	191	146
営業外収益合計	1,149	445
営業外費用		
為替差損	—	20
固定資産解体撤去費用	18	34
その他	34	67
営業外費用合計	52	122
経常利益	2,133	976
特別利益		
固定資産売却益	12	29
特別利益合計	12	29
特別損失		
固定資産売却損	31	32
固定資産廃棄損	17	13
減損損失	—	33
特別損失合計	48	79
税金等調整前四半期純利益	2,097	926
法人税、住民税及び事業税	455	411
法人税等調整額	80	18
法人税等合計	535	430
四半期純利益	1,561	496
非支配株主に帰属する四半期純利益	383	306
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,178	190

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	1,561	496
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	779	△455
為替換算調整勘定	3,634	△2,601
退職給付に係る調整額	△86	△225
その他の包括利益合計	4,327	△3,282
四半期包括利益	5,889	△2,785
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,853	△2,417
非支配株主に係る四半期包括利益	1,036	△367

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,097	926
減価償却費	1,892	1,961
減損損失	—	33
貸倒引当金の増減額(△は減少)	94	△19
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	660	131
賞与引当金の増減額(△は減少)	△69	△222
受取利息及び受取配当金	△267	△298
為替差損益(△は益)	△155	△176
有形及び無形固定資産除売却損益(△は益)	36	16
売上債権の増減額(△は増加)	△483	556
たな卸資産の増減額(△は増加)	△641	△72
仕入債務の増減額(△は減少)	△37	343
その他	△844	274
小計	2,281	3,454
利息及び配当金の受取額	299	328
利息の支払額	△1	△1
法人税等の支払額	△609	△521
法人税等の還付額	7	38
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,977	3,297
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△16,479	△17,131
定期預金の払戻による収入	15,969	18,722
有価証券の売却及び償還による収入	207	189
有形固定資産の取得による支出	△3,026	△2,487
有形固定資産の売却による収入	30	163
投資有価証券の取得による支出	△1,647	△1,991
投資有価証券の売却及び償還による収入	300	5
貸付けによる支出	△9	△5
貸付金の回収による収入	9	10
その他	△181	△206
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,825	△2,732

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△7	—
自己株式の取得による支出	△1	△1,521
配当金の支払額	△621	△573
非支配株主への配当金の支払額	△243	△261
リース債務の返済による支出	△20	△20
その他	—	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△894	△2,376
現金及び現金同等物に係る換算差額	742	△342
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,999	△2,153
現金及び現金同等物の期首残高	45,224	42,658
現金及び現金同等物の四半期末残高	42,225	40,505

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	電子部品	電子機器	生産器材	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,528	5,108	16,748	34,385	—	34,385
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	0	—	2	△2	—
計	12,530	5,108	16,748	34,387	△2	34,385
セグメント利益又は 損失(△)	△1,444	1,123	1,356	1,036	△0	1,036

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	電子部品	電子機器	生産器材	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,805	4,133	17,192	35,131	—	35,131
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	1	0	2	△2	—
計	13,805	4,134	17,192	35,133	△2	35,131
セグメント利益又は 損失(△)	△903	574	984	654	△0	654

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。